

原水協活動 FAX News

発行:原水爆禁止日本協議会

電話03 5842 6031 FAX03 5842 6033

URL <http://www.antiatom.org/> Eメール antiatom55@hotmail.com 2008年7月10日 No.62

世界大会目前！パンフ学習力に

草の根から代表派遣運動を大きくすすめよう！！

世界大会まであと20日。各地で活発なとりくみがすすめられています。しかし、代表数の現状は、いっそうの大奮闘が求められています。地域、職場、学園から「大会パンフ」での学習会など無数にひらき、目標数を明確にし、募金運動ともむすんで代表派遣の急速な広がりをつくりだしましょう。

「青年」を組織して、労働組合の活性化もめざす - 和歌山

和歌山自治労連は、今年の世界大会により多くの青年を組織しようと執行委員会で確認しました。

新宮市職労の書記長が中心になり、すべての組織に世界大会への参加と「折り鶴プロジェクト」への協力を要請し、職場から平和の願いと声を届ける取り組みを計画しています。

「世界大会に参加して、集会と平和を実感しよう」をスローガンに、労働組合の活動を次世代に継承するためにもとりくみを成功させようと働きかけをつよめています。(和歌山県原水協通信より) 右・和歌山での青年たちの署名行動



青年先頭に各地各分野から代表派遣運動すすむ - 岡山

美作原水協では2008年原水爆禁止世界大会・広島に10人以上の参加をめざして準備をすすめています。参加は、ワゴン車2～3台でかけつけます。また、青年も大奮闘、PPO(PEACE/PIECE おかやま)の実行委員長を出しているソワニエ看護学校ではすでに8人の参加名簿が事務局に届けられています。10代20代の青年を中心に参加します。ソワニエでは折り鶴の取り組みもすすみ3000羽をめざして広島大会に参加する代表に託します。

非核日本宣言運動の広がり力に世界大会へ勢い - 埼玉

埼玉県原水協は7月10日、非核日本宣言運動の県内での経過と中間到達について、記者発表しました。

昨年来、全国でとりくんできている「非核日本宣言」運動を、この間、県内でも自治体や著名人、各分野・団体に対して精力的な要請行動をつよめてきました。とくに自治体には、国民平和大行進を中心に、市町村長、議会議長、教育長の賛同にとりくみ、議会にむけては意見書採択の運動にとりくんできました。その結果、16首長、13議会議長、10教育長が賛同し、政府に対する意見書決議は23市町へと広がっています(7/7現在)。賛同首長の内、2市町長(深谷市長、前美里町長)は、共同提唱者となっています。

また、著名な方々による共同提唱・賛同は180名余にのぼり、自治体関係者を含め200名近い人々が共同提唱・賛同者となっています。さらに、団体にたいしては、福田首相宛の「要請ハガキ」を2500枚活用しきり、その多くが支部や班段階から首相あてに届けられています。

県原水協では、これらの動きを世界大会に結実させ、300名の大会代表派遣をやりきろうと奮闘中です。